

5つの疑問

- ・総合計画の目的である「市民が住み易いまちだと実感するまちづくり」がブレしていないか・
- ・3つのしくみづくり(ソフト面)だけでも、施策(ハード面)だけでも前に進まない、つまり両者がうまくリンクしているのか。
- ・アンケート調査結果(市民の要望)が施策にフィードバックされているのか。
- ・目的に向かって、先頭に立つべき行政の意識改革とその認識度が統一されているのか。
- ・真の市民参加、市民協働、等の体制が確立されているのか。

1. 第4次総合計画の目的⇒ 市民が「富田林は住み易い町だ」と思える町を作ること。
 - a. 第3次総合計画までのコンセプト [ひと・みどり・文化・定住のまちづくり]
 - ①みどり：里山が破壊さっている、②人、定住のまちづくり：少子高齢化、人工減少
 2. 第4次総合計画に際してのアンケート調査結果と分析（時間が無くて調査できず）
 - a. 問題点：アンケート調査結果を分析し、100年後を見据えた的確な方向性と総合計画になっているか。
-

3. 第4次総合計画が「住みよいまち」になった、と市民が感じる項目が設定されているか。
 - a. H22年度のアンケート調査結果から市民が思う重要度のベスト3は、それぞれ防災・防犯・(91.3%)、交通安全対策・(90.3%)および保険医療・(89.8%)である。
 - b. これに対しての満足度は、それぞれ 13.0、7.2 および 19.1%でしかなく、市民は、この程度で「住み易い町だ」とは感じてい。
 - c. これに対するローリングがなされたいない。何のためのアンケートなのか。
-

4. 何のための「しくみづくり」なのか
 - a. 「しくみ」をつくつただけでは富田林市は良くなる。それが「市民が住み易くなった感じるための施策」とリンクして、初めて「しくみづくり」の効果が評価される。
 - b. 野球で1例を挙げる。まずソフト面(しくみづくり)に相当する道具、つまりルール、グローブ、ボール、バット、スパイク並びにユニホームが最良であっても、ハード面(施策)、つまりそれらを使いこなす監督や選手(行政)に素質と努力が無ければ、その野球を見ている観客(市民)は、決して満足も感激もしないだろう
-

5. 総合計画書に対する「答申書」およびフォローアップ会議の「報告書」から

- a 答申書 (4. 本基本計画推進に切り行政に期待すること 148頁～)

- ① 市民自治、 ② 選択と集中(100年後を見据えた事業)、 ③ 安定した地域経営、
④ 総合的視野(縦割り行政からの脱却)、 ⑤ 職務の目的意識(PDCAの活用)、
⑥ 現場からの発案(活気とやる気を育てる組織づくり)

- b, 報告書

H22年度報告書(IV 全体像と全体の流れ)

- 1) 意思決定の流れについて

一年毎に実施予定のフォローアップ時に施策の効果を見極め、効果の薄い、または緊急性の高い施策に限りローリングすべきである。また、施策はアンケート結果、かつ優先順位を考慮し、予算についても単年度決算であっても長期的な考慮が必要ではないか。

- 2) 工程表について

①総合計画(10年間)のPDCAサイクルおよび②フォローアップ会議(毎年)のサイクルは、上述した1)に準拠すべきではないか。3年毎にローリングすることを総合計画で決める意味合いは薄く、むしろ毎年実施予定のフォローアップ会議が「富田林市の将来像」にズレやブレが生じている、との結論に達した施策についてローリングすれば良いのではないか。

H23 年度報告書(Ⅱ 昨年度の報告書に対する取り組み状況の評価 7 頁～)

- ①課題 1 しくみづくりの課題 ⇒ 成果を示し、かつ課題の指摘
 - ②施策と事業の関係における課題 ⇒ 課題のみ
 - ③全庁的な課題 ⇒ 問題点を示し、かつ課題の指摘
- イ.対職員評価と教育 ロ,シート類の全庁的促進

H23 年度報告書(Ⅲ 総合計画の進捗状況の評価 7 頁～)

- ①事業の必要性を明確にする ③計画と実際にブレがある ④成果の指標ができない場合はその理由を明記する ⑤政策推進課が成果指標等に際して積極的に関与する

■総合計画の目的は「住み易い、と実感するまちづくり」にある。つまり

- ・真の市民参加になっているか。
- ・ソフト(しくみづくり)も重要である。しかし、それ以上に大事な
- ・ことはハード、つまり「住み易いまちづくりのための施策」ではないか。両者がうまく機能してこそ**目的達成が可能**ではないか。
- ・市民アンケートから、市民は「住み易い町になった」とは思っていない、のでは
- ・答申、報告書から「総合計画に対する行政の意識改革」が進んでいるとは思えない。
この達成が大前提となる。

この辺りを論議し、その是非を検証しなければ「市民が住みよい町と実感する」町づくりは難しい、のではないか。

富田林市次期総合計画策定のための市民アンケート調査ご協力のお願い

日ごろは市政の推進に格別のご理解とご協力をいただきありがとうございます。
ます。

本市では、平成8年度からスタートした第3次富田林市総合計画に基づき「ひと・みどり・文化 定住のまち富田林」をキャッチフレーズに施策の推進に取り組んでいます。

総合計画とは、富田林市が目指すべき方向性を示し、理想像を実現するために必要な方策をまとめたものです。現計画の計画期間は平成17年度までであり、少子高齢化や厳しい経済情勢などを踏まえて、平成18年度からはじまる次期総合計画の策定に着手しました。

このアンケート調査は、次期総合計画の策定に際して、市民の皆様の意識や、まちづくりに対する意向などをお伺いし、計画に反映することを目的に実施するものです。

なお、今回のアンケート調査は、本市にお住まいの18歳以上の皆様の中から、7,000人を無作為に選ばせていただきご協力をお願いするものです。ご記入いただいた内容につきましては、すべてコンピューターで統計的に処理して利用させていただきます。また、市政運営以外の目的で使用することはありません。

大変お忙しい中、誠に恐縮ではありますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成16年10月

富田林市長 多田利喜

調査回答におけるお願い

- 封筒の宛名に記載された方がご記入ください。
- ご記入いただいたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らず、平成16年11月5日（金曜日）までにご投函ください。

【お問い合わせ先】

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

富田林市 市長公室 政策推進室

TEL 0721-25-1000（内線514）

22年度

市民アンケート調査結果

～市政に関する市民の皆さんのご意見～

市政に関する市民の皆さんの意見や考えを知るため、昨年9月に実施した22年度市民アンケートの調査結果がまとまりました（15ページ表）。内容は、昨年に引き続き、日ごろの生活環境面について（21項目）の重要度と満足度を調査しました。

アンケートの実施方法は、住民基本台帳と外国人登録原票から無作為に抽出した20歳以上の1500人に郵送しました。そのうち、841人の皆さんから回答をいただき、回収率は56%でした。

満足度と重要度の高かった項目などは次のとおりです。

満足度

市政に関する21の質問項目の中で、「とても満足」や「やや満足」を合わせた満足度が最も高かった項目は、**①上下水道・ごみ・し尿など生活基盤の充実度**の

28.9%でした。

次に、「**③町並み・歴史などの美しさ**」の25.1%、続いて「**②公園や緑地などの環境づくり**」の23.3%、「**⑥保健医療などの充実度**」の19.1%という順になっています。



一方、「とても不満」「やや不満」を合わせた不満度が最も高かった項目は、「**⑤公共交通手段の便利さ**」の44%でした。

次に、「**④高齢者・障がい者などにとっての暮らしやすさ**」の38.6%、続いて「**②道路などの交通網の整備**」の38.1%、「**⑥保健医療などの充実度**」の32.5%という順になっています。

全体的に、昨年度実施したアンケートの結果と大きな変化はなく、依然として満足度と不満度の高い項目は、生活に直接影響を与える事柄に集中していることがうかがえます。



重要度

同じく21の質問項目の中で、「とても重要」「やや重要」を合わせた重要度が最も高かった項目は、「**⑦防犯・防災・消防など危機的**管理の安心度」の91.3%でした。

この項目については、毎年最も重要度が高く、市民の皆さんの関心が集中していることがうかがえます。

次に、「**⑩交通安全対策による安心度**」の90.3%、続いて「**⑥保健医療などの充実度**」の89.8%、「**④高齢者・障がい者などにとっての暮らしやすさ**」の88%という順になっています。

一方、「重要でない」「あまり重要でない」を合わせた重要度が最も低かった項目は、「**⑨観光地などのにぎわい**」の36.6%でした。

次に、「**⑩文化・芸術活動の振興**」の29.3%、続いて「**③町並み・歴史などの美しさ**」の25.5%、「**②市民公益活動などの充実度**」の21.5%という順になっています。

これらの結果を見ると、生活に直接影響を与える事柄に比べ、観光や文化・芸術は、重要度が低く判断されていることがうかがえます。



- ① 13%
- ② 72%
- ③ 19%
- ④ 88%

本市では、このアンケートを同じ項目で毎年実施することにより、市民の皆さんの市政に対する意見の推移を考察し、今後の施政に反映させていきたいと考えています。

お忙しい中、アンケートにご協力いただいた市民の皆さん、ありがとうございました。

なお、市ウェブサイトの「ご意見・ご感想」フォームからのEメール、または市役所1階に設置しています「市民の声ご意見箱」への投書で、市政に関するご意見を、随時受け付けています。

問い合わせ 情報公開課（内線182）

日ごろの生活環境面についての重要度・満足度 (単位: %)

